

No.1 ○豊明市議会定例会会議録(第6号)

平成24年3月19日

1. 出席議員

1番	川上 裕	議員	2番	毛受 明宏	議員
3番	近藤 郁子	議員	4番	藤江 真理子	議員
5番	早川 直彦	議員	6番	近藤 善人	議員
7番	三浦 桂司	議員	8番	平野 龍司	議員
9番	平野 敬祐	議員	10番	近藤 千鶴	議員
11番	一色 美智子	議員	12番	村山 金敏	議員
13番	近藤 恵子	議員	14番	山盛 左千江	議員
15番	杉浦 光男	議員	16番	安井 明	議員
17番	伊藤 清	議員	18番	堀田 勝司	議員
19番	月岡 修一	議員	20番	前山 美恵子	議員

2. 欠席議員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	成田 宏 君	議事課長	吉川 勝美 君
議事課長補佐	松林 淳 君	議事課長補佐	石川 晃二 君
兼庶務担当係長		兼議事担当係長	

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	石川 英明 君	副市長	平野 隆 君
教育長	後藤 学 君	行政経営部長	横山 孝三 君
健康福祉部長	神谷 巳代志 君	経済建設部長	鈴木 重利 君
消防長	三治 金行 君	教育部長	加藤 誠 君
行政経営部次長	福井 康夫 君	健康福祉部次長	原田 昇 君
兼財政課長		兼医療健康課長	
会計管理者	塚本 邦広 君	秘書政策課長	伏屋 一幸 君
兼出納室長			
総務防災課長	神谷 元弘 君	高齢者福祉課長	原田 一也 君

都市計画課長 前田 鑛 君 環境課長 森 弘和 君
監査委員事務局長 犬塚 豊和 君

5. 議事日程

(1) 議案第1号 平成24年度豊明市一般会計予算の撤回の件

6. 本日の会議に付した案件

(1) 議案第1号の撤回の件

(2) 議案上程・提案説明・質疑・委員会付託

議案第40号 平成24年度豊明市一般会計予算について

午後1時30分開議

No.2 ○議長(平野敬祐議員)

本日、緊急に会議を開催したところ、定刻にご参集をいただきありがとうございます。

ただいまの出席議員20名でございます。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の議事運営につきましては、あらかじめ議会運営委員会でご協議をいただいておりますので、その結果を委員長より報告を願います。

三浦桂司議会運営委員長。

No.3 ○議会運営委員長(三浦桂司議員)

議長よりご指名がありましたので、議会運営委員会の審査結果についてご報告を申し上げます。

本日、午後1時より委員会を開催し、本日の議事について協議をいたしました。

その結果、3月16日に、市長より議案第1号の撤回の申し出がありましたので、本日の議事日程に組み入れることといたしました。

提案理由の説明の後、質疑を行い、直ちに討論・採決をすることといたしました。

以上で議会運営委員会の報告を終わります。

No.4 ○議長(平野敬祐議員)

ご苦労さまでした。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付をいたしました議事日程表に従い会議を進めます。

日程1、議案第1号 平成24年度豊明市一般会計予算の撤回の件を議題といたしま

す。

議案第1号の撤回の理由の説明を求めます。

石川市長。

No.5 ○市長(石川英明君)

それでは、議案第1号の撤回の理由について説明をさせていただきます。

私の提出した平成24年度豊明市一般会計予算につきましては、去る3月16日に開催された予算特別委員会において、委員より提出されました平成24年度一般会計予算の組み替えを求める動議が、委員会において可決されたことに伴い、その動議を尊重し、議案第1号を撤回することを申し出るものでございます。

議会の皆さんにはご理解の上、ご同意いただきますようお願い申し上げます。

なお、撤回が議会において承認されました後に、組み替え動議の内容の一部に修正を加えた議案を再提出する予定でありますので、議長においてお取り計らいをお願いいたします。

以上です。

No.6 ○議長(平野敬祐議員)

説明は終わりました。

ただいまの説明について、質疑のある方は挙手を願います。

山盛左千江議員。

No.7 ○14番(山盛左千江議員)

予算組み替え動議の内容について質疑すればよろしいですね。ちょっとよくわかってないんですが、それでよろしいですか。

No.8 ○議長(平野敬祐議員)

取り下げです。取り下げの件だけです。

No.9 ○14番(山盛左千江議員)

じゃ、失礼いたしました。後からまた、お願いいたします。

No.10 ○議長(平野敬祐議員)

ほかにございませんか。

(進行の声あり)

No.11 ○議長(平野敬祐議員)

以上で質疑を終結し討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

(進行の声あり)

No.12 ○議長(平野敬祐議員)

討論を終結し採決に入ります。

議案第1号 平成24年度豊明市一般会計予算の撤回の件については、これを承認することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

No.13 ○議長(平野敬祐議員)

ご異議なしと認めます。よって、議案第1号 平成24年度豊明市一般会計予算の撤回の件については、承認することに決しました。

(議長の声あり)

No.14 ○議長(平野敬祐議員)

石川市長。

No.15 ○市長(石川英明君)

議案第40号 平成24年度豊明市一般会計予算を再提出したいので、議長においてよろしくお取り計らいをお願いします。

以上です。

No.16 ○議長(平野敬祐議員)

ここで、議事の都合により暫時、休憩といたします。

午後1時34分休憩

午後2時19分再開

No.17 ○議長(平野敬祐議員)

休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

休憩中にお手元に配付をいたしましたとおり、議案第40号が追加提案されましたので、その取り扱いについて議会運営委員会で協議をされておりますので、その結果を委員長より報告願います。

三浦桂司議会運営委員長。

No.18 ○議会運営委員長(三浦桂司議員)

議長よりご指名がありましたので、休憩中に開催いたしました議会運営委員会の審査結果についてご報告を申し上げます。

その結果、議案第 40 号については日程に追加し、直ちに議題とすることといたしました。当局より提案説明の後、質疑を行い、予算特別委員会に付託することといたしました。なお、予算特別委員会は3月 21 日午前 10 時より開催することといたしました。以上で議会運営委員会の報告を終わります。

No.19 ○議長(平野敬祐議員)

ご苦労さまでした。

お諮りいたします。ただいま、報告されましたとおり、議案第 40 号を日程に追加し、直ちに議題といたしたいが、これにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

No.20 ○議長(平野敬祐議員)

ご異議なしと認めます。よって、議案第 40 号を日程に追加し、直ちに議題といたします。提出者より提案理由の説明を求めます。

横山行政経営部長。

No.21 ○行政経営部長(横山孝三君)

議案第1号 平成 24 年度豊明市一般会計予算書の取り下げをお認めいただきましたので、改めまして、議案第 40 号 平成 24 年度豊明市一般会計予算について説明させていただきます。

再提案いたしますのは、延長保育使用料を無料とするものでございます。

予算書をごらんいただきたいと思います。

最初に、5ページをごらんいただきたいと思います。

歳入歳出予算の総額につきましては、変更ございません。

また、歳出の変更もございません。

次に、7ページをお願いいたします。

歳入につきましては、7ページの第1表、歳入歳出予算のうちの 12 款 使用料及び手数料の合計は1億 4,496 万 8,000 円、1項の使用料は1億 713 万 1,000 円といたしました。

次に、8ページをごらんください。

17 款 繰入金の合計は3億 800 万円、基金繰入金は同じく3億 800 万円といたしました。

次に、17 ページをごらんください。

歳入歳出予算事項別明細書の 12 款であります。

使用料及び手数料のうちの本年度予算額は1億 4,496 万 8,000 円とし、比較ではマイナス 2,121 万 3,000 円でございます。

それから、5行下の 17 款でございます。

繰入金、本年度予算額は3億 800 万円とし、比較ではマイナス 5,483 万 3,000 円でありませぬ。

次に、少し飛びますけれども、36 ページをお願いします。

36 ページの、12 款 使用料及び手数料、1 項 使用料、2 目 民生使用料、2 節の保育園使用料を 178 万 6,000 円とし、説明欄の保育園使用料は 178 万 2,000 円であります。

次に、66 ページをお願いします。

17 款 繰入金、1 項 基金繰入金、1 目 財政調整基金繰入金は、3億 800 万円といたしました。

以上で説明を終わります。

No.22 ○議長(平野敬祐議員)

以上で提案理由の説明を終わり、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

山盛左千江議員。

No.23 ○14番(山盛左千江議員)

傍聴していらっしゃる方も、何がどうしてこうなったかが、よくわからない方もおいでになるかと思しますので、それも踏まえて質疑をさせていただきたいと思います。

まず、3月 16 日の予算委員会におきまして、安井議員、三浦議員、近藤郁子議員、近藤千鶴議員の4名の委員より、予算の組み替え動議が提出されまして、その内容につきましては、児童クラブの利用料の無料化に加えて、延長保育料の無料化を行うようにという予算の組み替えの要望でありました。

質疑は十分なされず、内容についての質疑をいたしました。ここに書いてあること以外は答えませんということで、今後の子育て支援の提案者の考え方などについて確かめることもできず質疑が終わり、討論を省略されて、最終的な議決というような流れになってしまったということ。とりあえず申し上げた上で、お聞きいたします。

この内容によりますと、延長保育の利用者数、それから利用金額については、たしか質疑で 800 万円と言われたような記憶がありますが、延長保育のその対象者、それから金額について改めて、修正も 800 万円なんです。その根拠といいますか、人数等を説明をいただきたいと思います。

それから、提案者と話をされたのか、だれかはわかりませんが、市長が長く休憩をとられて調整中であったというふうに理解をしております。

その調整の中でどういった話がありまして、市長がこの要求を受けとめられたのか、その話し合いの内容について、差しさわりのない部分で結構ですので、ご説明をいただきたいと思います。

それからもう一つ、延長保育料の無料化については、市長のマニフェストの中には入っておりません。

長い児童クラブの無料化の審査の中で、当局側は保育料の軽減については、25年度に行うというふうに答弁がありまして、延長保育とは別だと、延長保育はやりません、保育料10%の中でやりますという答弁がありましたので、それが延長保育の無料化を受け入れる流れになったというか変わった、そういったことについても、わかりやすく説明していただけるとありがたいので、お願いをいたします。

No.24 ○議長(平野敬祐議員)

答弁を願います。

神谷健康福祉部長。

No.25 ○健康福祉部長(神谷巳代志君)

延長保育料の対象者は約500名であります。

そして今回、800万円の減額となったものは、これは当初予算の積算におきまして、24年度でございますが、800万円の予算措置がしてあったためであります。

それから、調整の中でどんな話がされたかということでございますが、当初25年度に、議員が申されましたとおり、保育料の10%軽減ということで予定をいたしておりましたが、その一部を前倒しをして、延長保育料の無料化をするものでございます。

3番目、延長保育料の無料化、前と何が変わったかということでございますが、やはり市長のマニフェストの中の大変重要な項目の子育て支援、これに資するということになりますので、保育料の10%軽減の一部を前倒しをして、延長保育料の無料化をするものでございます。

終わります。

No.26 ○議長(平野敬祐議員)

石川市長。

No.27 ○市長(石川英明君)

私のほうからは、少し経緯をお話をさせていただきたいと思います。

動議をいただいて、基本的には、当初は本体部分だけでご理解をいただきたいという話を、正直させていただきました。

しかし、我々内部としても、子育て支援をするという意味合いで、延長保育の部分についても、やはり一考する必要があるという見解は持っておりました。

ですから、当初は25年度、本体の10%軽減、マニフェストでは2,700万円ですね。そのことを25年度にやって、それ以降ですね、検討させていただけないかということでありましたが、そのときの委員長も議長も、それから伊藤議員もおみえになって、我々のほうは副市長、行政経営部長と3名だったですか、お話をさせていただいて、その意図することについては、私も十分、今後の子育て支援については理解ができますのでという話をしたんですが、強い、皆さんからの今年度の取り組みとしてはどうだというような話もございました。

それでもう一度、持ち帰りをさせていただいて、その中で我々内部で検討させていただいたのが、今、部長がお答えをしたように、私のマニフェストでは2,700万円の保育料の10%軽減の中に組み入れさせていただけるならどうだということを、内部的に詰めました。

それはなぜかというと、800万円プラス2,700万円で、相当やはり金額も大きくなっていて、今の財政状況では少し検討に値する部分がありましたので、この辺を組み入れていくならということの内部検討をさせてもらいました。

それで、この部分については、少し財政的にも厳しいんですが、前倒しをして、今年度、延長保育の無料化については実施をし、その後ですね、残りの部分につきましては来年度、本体については整理をしていきたいと、そうした経緯で決まりましたので、ご報告と、その経緯として、そのような形で決まりましたことを、ご報告といたしたいと思えます。

以上です。

No.28 ○議長(平野敬祐議員)

ほかにございませんか。

山盛左千江議員。

No.29 ○14番(山盛左千江議員)

対象者が500人ということで、この500人というのは、延長保育に申し込みをされる全員分でしょうか。

それとも、一定の所得制限を持った上の500人なんですか。

委員会の審査の中で、所得の高い人に云々というような質疑がたくさんございましたので、全員なのか、それとも一部を除いたものなのか、一応確認をさせてください。

No.30 ○議長(平野敬祐議員)

答弁を願います。

神谷健康福祉部長。

No.31 ○健康福祉部長(神谷巳代志君)

延長保育料につきましては、もともと所得制限を設けておりません。
この500人につきましては、全員を対象とした中の実績の人数でございます。
終わります。

No.32 ○議長(平野敬祐議員)

ほかにございませんか。
早川直彦議員。

No.33 ○5番(早川直彦議員)

今の件についてお聞かせ願います。
500人を予定していると思うんですが、無料化になれば、新たに無料化で増える可能性というのはないのでしょうか。
そうすれば、人数が増えれば職員を増やさなければいけないと、実際の800万円よりも、さらに費用がかかり過ぎるということは考えられないのか。
後は、提案者の説明が十分なされてなくて、この延長保育だけに関するものなのか、ほかの部分も含めての無料化なのかということがわかりませんので、お聞かせください。

No.34 ○議長(平野敬祐議員)

もう一度、すみません、早川直彦議員、2回しかありませんからね、正確に。まだ1回目
でいいから。

No.35 ○5番(早川直彦議員)

提案された理由の延長保育の利用料についても無料化することとしてあるんですが、この延長保育の部分だけを言っているのか、ほかに何か、それにプラスアルファがあるのかというのをお聞かせください。

No.36 ○議長(平野敬祐議員)

答弁を願います。
神谷健康福祉部長。

No.37 ○健康福祉部長(神谷巳代志君)

まず、1点目の無料化したことによって、どんどん増えるのではないかというご懸念で

ございますが、延長保育につきましては、この時間まで保育に欠けるという事由を必ず出していただきますので、例えば何時まで勤務があるとか、そういったことで、現在もそうなんですけど、書類で証明を出していただいておりますので、無料にしたからといって、やたら増えるものではございません。

今回の減額につきましては、延長保育料のみでございます。
終わります。

No.38 ○議長(平野敬祐議員)

ほかにございませんか。
近藤恵子議員。

No.39 ○13番(近藤恵子議員)

すみません、今回、動議で延長保育の分が出たんですけれども、12月のころに、会派からの予算要求があると思うんですが、その中に延長保育の無料というのがあったんでしょうか。

差し支えなければ、教えてください。

No.40 ○議長(平野敬祐議員)

近藤恵子議員、議案は、今回の延長保育の予算なので、各会派からの予算要望というのは、ちょっとそぐわないと思いますので、もう少し違う質問の体系になりませんか。

各会派に尋ねてください。
1回目ですね。

No.41 ○13番(近藤恵子議員)

予算要求にあったかどうかということに対して、もし、答えられるなら教えてください。お願いします。

No.42 ○議長(平野敬祐議員)

答弁を願います。
横山行政経営部長。

No.43 ○行政経営部長(横山孝三君)

その件につきましては、たくさん予算要望を各会派からいただいておりますけれども、それぞれのことについて、あったかどうかということについては、承知をしておりません。

以上です。

No.44 ○議長(平野敬祐議員)

ほかにございませんか。

早川直彦議員。

No.45 ○5番(早川直彦議員)

先ほど、市長の答弁の中に、財源の 2,700 万円の中に、この 800 万円を含めるということなのですが、そうすることによると、じゃ6%から7%ぐらいの、25 年度に減ということなんでしょうか、お聞かせください。

No.46 ○議長(平野敬祐議員)

早川直彦議員、10%のうちの6%ぐらいを、今年使うかどうかという質問ですね。

答弁を願います。

神谷健康福祉部長。

No.47 ○健康福祉部長(神谷巳代志君)

保育料 10%の 2,700 万円のうちの 800 万円は、約 30%でございますので、必然的にはそこから率は出てくると思います。

終わります。

No.48 ○議長(平野敬祐議員)

ほかにございませんか。

(進行の声あり)

No.49 ○議長(平野敬祐議員)

これにて、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま、議題となっております議案第 40 号については、豊明市議会会議規則第 37 条の規定により、予算特別委員会に付託いたしたいが、これにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

No.50 ○議長(平野敬祐議員)

ご異議なしと認めます。よって、議案第 40 号は予算特別委員会に付託することに決しました。

以上で本日の日程は終了いたしました。

明日以降の会議日程は、3月9日に議決いたしましたとおりとし、3月22日午前10時より本会議を再開し、委員長報告・同質疑・討論・採決を行います。

本日はこれにて散会いたします。

ご苦労さまでした。

午後2時36分散会

copyright(c) Toyoake City.